

## プラスチック製容器包装分別収集について

### 1 プラスチック製容器包装分別収集の状況（別紙）

- (1) 収集量は、平成 22 年 10 月当初の 1 世帯 1 回あたりの平均排出量 168g から直近の平成 23 年 8 月末には 263g に向上している。
- (2) 平成 23 年 6 月に容器包装リサイクル協会が実施した汚れに関する分別適合基準調査で A ランク評価であった。（平成 22 年 11 月実施検査でも A ランク）
- (3) 組成分析では、当初と直近のデータから分別対象以外のプラスチック、缶・びんなど他の資源、危険ごみなどの混入率が約 1.5%改善され、12.18%になった。
- (4) 収集量の増加と不適合物の除去については、モデル地区内での説明会や啓発チラシの配布等を継続し、排出状況の悪い地区については、戸別訪問を行い、より一層の、分別の周知・啓発を実施する。

### 2 検討事項

- (1) モデル地区の一部において、次のとおり収集回数と分別不適合物の取扱いを変更し、プラ容器・不燃ごみ・可燃ごみの排出量の変化を検証する。
  - ・燃やせないごみの収集回数を毎週 1 回から、月に 2 回に変更する
  - ・分別不適合物を、「燃やせるごみ」として収集する
  - ・検証期間は、10 月・11 月の 2 カ月間とする
- (2) 汚れがとれにくいプラ容器を検証し、特定していきます。